

「7つの習慣®」に学ぶリーダーシップ	履修年次	3・4	
	単位	2	
中島 智人、齊藤 弘通	配当期	前	
	授業方法	演習/対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>学生が卒業後、社会人として社会に貢献していくためには、一人ひとりが自立し、他者と協力しながら物事を進めていく「リーダーシップ」が不可欠である。それらリーダーシップを身につけていくには、技能やスキルの習得だけではなく、自分の価値観の軸を定めたり、人生の目標を持ったり、他者との関係性についてよく考えるなど、リーダーシップに必要なマインドセットを理解し、また、それらの考え方を自分自身で内省し、整理することが重要である。社会でのリーダーシップとして必要な要素を体系化した「7つの習慣」を学生の視点で解説し、学生には自分自身のこととして演習やレポートに取り組みながら、基礎原則、および第1の習慣～第7の習慣を14回の授業で理解する。学生は、まず基礎原則および第1の習慣、主体性を発揮するための思考フレームについて演習を通して学ぶ。第2の習慣で自分自身の夢や目標について整理し、そのための時間の使い方管理の仕方について第3の習慣で理解する。第4の習慣～第6の習慣では、実践的なロールプレイも体験しながら、他者と相乗効果を発揮するための姿勢や考え方について学ぶ。第7の習慣で日々の自己研鑽について意識し、それぞれの習慣を、毎週課題を通して実践していくことで、「リーダーシップ」の要素を身につけていく。</p> <p>なお、「授業外学習」の指示・提出は、学習支援システム「manaba」上で行う。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会でリーダーシップを発揮するための基本的なマインドセットとして「7つの習慣」を理解することができる。 ・ 組織・社会の一員として活躍するための、自己マネジメントを含むリーダーシップについての姿勢を実践することができる。 ・ 自己のキャリア形成に際し、仕事への取組みや人間関係の構築の指針として「7つの習慣」を参照することができる。 			
成績評価の方法			
授業への出席回数、毎回の事前事後課題の提出率、小テストの結果を加味した上で、授業最終回後に提出する「レポート」の内容を総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	リーダーシップと7つの習慣について	8	信頼残高信頼関係を築く際の考え方について
2	ものの見方「パラダイム」と「パラダイム転換」について	9	第4の習慣相手と何かに取り組む際の姿勢について
3	第1の習慣「自分で選択する」という考え方について	10	第4の習慣 Win-Win を支える、勇気と思いやりについて
4	第1の習慣「影響の輪」の考え方について	11	第5の習慣相手に理解されるために重要な事について
5	「7つの習慣」とキャリア形成について	12	第6の習慣違いを尊び「シナジーを創り出す」ことについて
6	第2の習慣人生の設計図と「ミッションステートメント」について	13	第6の習慣「シナジーを創り出す」実践演習
7	第3の習慣大事なことを優先する時間管理について	14	第7の習慣「刃を研ぐ」・まとめ